

キンロツク氏はかつて英國皇室の護衛巡査を勤めた事のある人である
一、支那新聞は最近米國が日本に對し四十二人乗り大型ダグラス機を賣却契約するとの報道に對し支那は日本の空軍がダグラス機を以つて支那の各地を爆撃してゐるが米國は日本に對し斯る飛行機の發送を中止する様希望するを述べてゐる、

内閣情報部八・二五 情報第四號

大島リツベントロツプ會見

同盟來電—不發表

ベルリン廿三日發同盟（アヴァス電）

大島大使は廿二日リツベントロツプ外相と會見し獨ソ不可侵條約締結問題につき重要協議を遂げたが、アヴァス通信ベルリン支局は會見の模様に關し日本人筋より得たる情報として左の如く傳へてゐる。

二十二日の大島、リツベントロツプ會見は頗る緊張し大島大使は軍隊式に全然言葉を飾らず率直に意見を表明したといはれる、ドイツ側では「今回の獨ソ條約は根本的にはイデオロジカルな防共協定に何等の影響を與へるものではない」と説明したが、日本人筋では斯る説明は「茶番狂言」に過ぎぬと言つてゐる又ドイツ官邊

は獨ソ新條約に關して日本とスペインが正確な説明を求めたのに對し頗る困惑の色を示してゐる、事實日西兩國は今回の獨ソ條約に關し全然相談にあづからず、事前通告すら受けなかつたと云はれる、日西兩國はドイツが全く大膽不敵な行動を行つたと見てはゐるが、若しモスクワに於ける英ソの最後交渉が失敗に終ればそのドイツに及ぼす影響は測り知るべからざ

るものがあらうと言つてゐる、尙ドイツ今回の抜打的對ソ接近はナチス主義に半信半疑の國內ブルジョア階級並びに労働者には大いに受けてゐるが其の思想的立場の改訂を餘儀なくされたナチス黨員は新情勢を餘り喜ばない模様である、又リツベントロツプ外相をモスクワに派遣したのはドイツの不見識を表すものだとも云はれるが、更にドイツ官邊はヒンデンブルグ軍がロシア軍に大勝した八月廿七日のタンネンベルグ記念日の祝賀祭を如何にすべきかにも悩んでゐると云はれる。

285
秘

内閣情報部八・二五

情報第五號

獨ソ不可侵協定公表の反響

(朝鮮總督府通信局聴取)

一、重慶ロイテル新聞電報放送(二十二日)

ソ獨不侵略協定締結迫るの報に戰時首都重慶は驚愕と興奮に支配され、之は支那官民の興味と注意を完全に吸収してゐる、彼等直接の關心はこの國際情勢の新展開が支那の對日抗戰に如何なる影響を及ぼすかといふことである。之迄のところベルリン、モスコワから簡単な發表があつただけなので支那官邊は目下その批評を差控へてゐる、彼等はより詳細なる情報待つと共にロンドン、パリ、東京版の反響を知りたがつてゐる。

目下の處支那側の意見は非常に區々としてをり、或る方面ではドイツが最大の自信を以て恐らく軍隊にダンチヒ、ポーランド迴廊への進撃を命令するであらうから、直ちに歐洲に戰爭が勃發するだらう、同時に英佛は僅かに残れる威信を防衛するためそのたよりない立場をも顧みず西方より攻撃を開始して、ポーランドをオーストリア、チエフスロバキアの直面した運命より救はんとするに相違ないこの意見を示してゐる。一方或る方面では今や英佛はダンチヒ、ポーランドを犠牲にすることを余儀なくせられ、現狀に於て可能なる最